# 第１回産科医療研究会　結果概要

**〇日　時**：令和５年８月 30 日（水）16：30～18：10

**〇場　所**：兵庫県庁２号館５階庁議室

**〇出席者**：別紙のとおり

**〇内　容**：

**１．研究会の設置について（事務局説明）**

・ 産科医療研究会の設置目的について

・ 会長、会長代理の指名

**２．議事**

**議題（１）産科医療体制の現状と課題**

① 事務局からの説明

② 意見交換（各機関における現状と課題の共有）

**議題（２）産科医療に関するアンケート（案）**

・ 事務局からアンケート（案）を説明　※特段、意見等なし

**〇主な意見（産科医療体制の現状と課題）**

- 妊婦や新生児を、どのように安全に医療機関に搬送するかが安心につながる。
- 産婦人科を志望する研修医は一定数いるが、先輩医師のハードな働きぶりを見て、最終的に産婦人科志望を完遂される人はほぼいない。
- 医師の働き方改革で、昼夜を問わず医師が少なくなり、強制的に休まざるをえなくなる。現在の医療水準（質）が担保可能なのか、頭を悩ませている。
- 当直明けの勤務をどのように対応していくかが課題である。
- 産科医だけでなく、新生児科医も大変な状況に置かれており、新生児科医も減っている。小児科と産科は一蓮托生であり、産科医が増えても小児科が減れば、共倒れになるということも考えておかなくてはいけない。
- （遠方の医療機関での勤務について）その地域に行きたくなるようなインセンティブやサポートにより、勤務する医師が報われるような体制が必要ではないか。
- 自宅の環境に近い助産所で、顔なじみの助産師により、産後ケア事業、通所訪問ケアを受けながら育児を開始するシステムによって、女性の精神的な支援になる。
- 「分娩は育児の始まり」という観点を忘れてはいけない。特に産後１ヶ月から１ヶ月半は育児との戦い。一人ぼっちで誰にもすぐに相談できないという状況が、メンタルヘルスの問題に繋がる最大の原因。助産師や専門スキルを持った看護スタッフが指導して、お母さんが安心して育児できる環境づくりが必要。
- 特に郡部では、お産ができる医療機関が限られているが、基本的な考え方として、その地域で中心となる医療機関に何とか一定のドクター数を確保し、安全なお産ができる体制を確保するというのが一番優先順位としては高いのではないか。
- 少子化を解消して、持続可能な地域づくりをしていくためには、やはり安心してお産ができる場所を設けていくことが必要ではないか。

**〇閉　会**：

今後、産科医療機関及び県内市町を対象に、産科医療体制に関するアンケート調査を実施し、以降の研究会での議論や検討に活用する。

別紙

# 第１回産科医療研究会出席者名簿

| 所属及び役職 | | 氏　名 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 【委員】 | | | |
| 医療 | 県立こども病院　院長 | 飯島　一誠 | |
| | 神戸大学医学部附属地域医療活性化センター長 | 石田　達郎 | （web出席） |
| | 姫路赤十字病院　副院長兼第一小児科部長 | 久呉　真章 | （web出席） |
| | 兵庫県助産師会 会長 | 國廣　晴美 | （web出席） |
| | 兵庫県医師会 常任理事 | 大門　美智子 | |
| | 兵庫医科大学主任教授 | 竹島　泰弘 | 代理　小児科学講師<br>柴田　暁男<br>（web出席） |
| | 兵庫医科大学教授 | 田中　宏幸 | |
| | 神戸大学大学院医学研究科特命教授 | 谷村　憲司 | |
| | 県立淡路医療センター　産婦人科部長 | 西島　光浩 | |
| | 神戸大学大学院医学研究科特命教授 | 藤岡　一路 | |
| | 公立豊岡病院組合立豊岡病院<br>但馬こうのとり周産期医療センター長 | 松原　慕慶 | （web出席） |
| | 兵庫県産科婦人科学会 会長 | 山崎 峰夫 | |
| | 県立こども病院　総合周産期母子医療センター次長 | 芳本　誠司 | （web出席） |
| 行政 | 佐用町長 （兵庫県町村会 会長） | 庵逧　典章 | 欠席 |
| | 淡路市長 （兵庫県市長会 会長） | 門　康彦 | 代理　健康福祉部付部長<br>鯛　泰子<br>（web出席） |
| | 洲本健康福祉事務所 所長 （兵庫県保健所長会 会長） | 鷲見　宏 | |
| 【オブザーバー】 | | | |
| | 養父市長 | 広瀬　栄 | |
| 【陪席】 | | | |
| | 兵庫県助産師会 副会長 | 毛利　多恵子 | （web出席） |
| | 養父市健康福祉部健康医療課　課長 | 余根田　一明 | |
| 【庁内関係課等】 | | | |
| | 兵庫県保健医療部　部長 | 山下　輝夫 | |
| | 兵庫県保健医療部　次長 | 岡田　英樹 | |
| | 兵庫県保健医療部健康増進課　課長 | 稲岡　由美子 | |
| | 兵庫県病院局企画課　課長 | 菅澤　真央 | |
| 【事務局】 | | | |
| | 兵庫県保健医療部医務課　課長 | 波多野　武志 | |
| | 兵庫県保健医療医務課　班長 | 浦野　武彦 | |
| | 兵庫県保健医療部医務課　主幹 | 阿部　竜二 | |
| | 兵庫県保健医療部医務課　職員 | 髙木　佳奈子 | |
| | 兵庫県保健医療部医務課　職員 | 福井　菜摘 | |

（敬称略、委員は五十音順）